



このたびは、ロンクリーンをお買上いただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの「ご使用説明書」とこの説明書の末尾についている保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■お読みになった後は必ず大切に保管してください。

## ご使用説明書

〈簡易水洗トイレ〉  
ロンクリーンデラックスエアーフレッシュ  
ロンクリーンデラックス  
—品番—  
DX-260                      DX-570  
DXP-5070                  DXAK-570

保証書付

### もくじ

品番・型式記号説明	.....	P. 2
安全上のご注意	.....	P. 2
ご使用にあたって	.....	P. 5
防寒対策について	.....	P. 6
こんなときは	.....	P. 7
保証書	.....	裏表紙

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

# 品番・型式記号説明

## ■ ロンクリーンデラックスエアフレッシュ

- D X A K - 5 7 0 …… 洋式型本体（陶器製）・エロンゲート・密結型タンク（陶器製）  
壁抜タイプ脱臭方式トイレ

## ■ ロンクリーンデラックス

- D X - 5 7 0 …… 洋式型本体（陶器製）・エロンゲート・密結型タンク（陶器製）
- D X P - 5 0 7 0 …… 洋式型本体（陶器製）・エロンゲート・密結型タンク（プラスチック製）
- D X - 2 6 0 …… 和式型本体（陶器製）・隅付型タンク（陶器製）

- |            |                       |         |           |
|------------|-----------------------|---------|-----------|
| ● P ……     | 手洗なし                  | ● W ……  | 手洗付       |
| ● H ……     | 暖房便座                  | ● F ……  | 凍結防止ヒーター付 |
| ● N ……     | 洗浄ノズル付                | ● N2 …… | 水抜付洗浄ノズル付 |
| ● MA・MB …… | マルチシャワー付<br>（温水洗浄便座付） |         |           |

# 安全上のご注意 注意 ご使用前に必ず お読みください！

## 警告

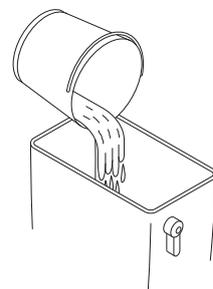
### 暖房便座付（品番H）・凍結防止ヒーター付（品番F）をご使用の方へのご注意

- 電源プラグに付着したほこりは取り除いてください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 電源プラグはガタツキのないように根元まで差し込んでください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 電源コードには重いものを乗せたり、ドアに挟んだり、たばねたりしないでください。  
（コードの破損や加熱により、感電や火災の原因になります。）
- 暖房便座・温水洗浄便座には水や小便、洗剤などをかけないでください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 暖房便座・温水洗浄便座が損傷した場合には、使用を中止し交換してください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 凍結防止ヒーター（水中ヒーター）は、必ず水没した状態でご使用ください。  
（発火による火災の原因になります。）

# 安全上のご注意 注意 ご使用前に必ずお読みください！

## 注意

- この製品は簡易水洗便器で、汲み取り式です。水洗トイレではありませんので、公共下水道や浄化槽には接続できません。便槽が一杯になる前に、必ず汲み取りを行ってください。（便槽があふれる場合があります。）
- ティッシュ、新聞紙、紙おむつ、生理用品など、水に溶けない紙は流さないでください。（汚水管が詰まり汚物が流れなくなる場合があります。）
- ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。（衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。）
- 製品にワレやカケが発生したときは交換してください。（ワレやカケた箇所に肌が触れると、ケガをする場合があります。）
- 便座便ぶたの上には乗らないでください。（破損や落下により、ケガの原因になる場合があります。）
- 洋式便器に腰かけた時は、便ぶたや水タンクによりかからないでください。（破損や落下により、ケガの原因になる場合があります。）
- 製品は改造して使用しないでください。（故障の原因になる場合があります。）
- 便皿部分は定期的に掃除してください。（尿石などが付着して、便皿開閉不良の原因になる場合があります。）
- 便器を洗剤で洗った後は、水でよく洗い流してください。（プラスチック部分がいたんで、使用できなくなる場合があります。）
- 便器を洗う洗剤は便座にかけないでください。（便座をいためる原因になる場合があります。）
- 掃除をされる場合、手袋などで手を保護して行ってください。（金属や便器に当たり、思わぬケガの原因になる場合があります。）
- 凍結の恐れのある場合には、水タンク及び便器内の水を必ず抜いてください。（凍結により、水タンクや便器が破損する原因になる場合があります。）
- レバーは水を流したら、すぐに放してください。（レバーを途中で止めると、水が多量に流れ、便槽が満杯になる場合があります。）
- 水タンクに芳香剤（ブルーレット等）などの薬品を使用しないでください。（部品をいため、水漏れの原因になる場合があります。）
- 長時間断水した場合、ゴミの少ない水を水タンクに入れて使用してください。（ゴミがノズルに詰まり、水が流れなくなる場合があります。）



# 安全上のご注意 注意 ご使用前に必ずお読みください！

## 注意

### 手洗付（品番W）をご使用の方へのご注意

- 手洗ノズルの水が跳ねる場合は、水圧が高いので、止水栓で水量を調整してください。（便座や室内を濡らす場合があります。）

### 暖房便座付（品番H）、マルチシャワー付をご使用の方へのご注意

- 長い時間座り続けしないでください。特にひひの弱い方はご注意ください。（座り続けると、低温ヤケドをする場合があります。）
- 暖房便座は便器からはずして、掃除をしてください。（便座の裏に小便がたまり、臭気や便座の破損の原因になる場合があります。）
- 長期間留守にする場合は電源プラグを抜いてください。（火災の原因になる場合があります。）
- マルチシャワーに付いている説明書を良くお読みのうえ正しくご使用ください。（感電、漏電、火災の原因になる場合があります。）

### 凍結防止ヒーター付（品番F）をご使用の型へのご注意

- 長期間留守にする場合は、電源プラグを抜き、水タンク内の水を抜いてください。（火災や陶器破損の原因になる場合があります。）
- 水タンク内を掃除する場合は、電源プラグを抜いてから行ってください。（感電する恐れがあります。）

### 洗浄ノズル付（品番NまたはN2）をご使用の方へのご注意

- 洗浄ノズルご使用後は、必ずバルブを閉めホース内の水を抜いてください。（閉め忘れると、室内や他の家具を濡らす場合があります。）
- ホースは折り曲げたり傷付けたりしないでください。（ホースが破損し、室内や他の家具を濡らす場合があります。）

### 和式（品番DX-260）をご使用の方へのご注意

- 用便中や用便後に立ち上がる時に、洗浄管をつかまないでください。（洗浄管が破損したり、ナットがゆるみ水漏れの原因になる場合があります。）

### 洋式（DXP-5070）をご使用の方へのご注意

- 水タンク内を掃除するときは、タンク底排水口止水面を傷付けしないでください。（タンク一体型のため止水不良となると、水タンクごとの交換になります。）

### 洋式（DXAK-570）をご使用の方へのご注意

- 掃除の後は、便器本体よりファンケースまでのエアホースがきちんと差し込まれているか、確認してください。（差込が不十分だと、脱臭機能が弱まる場合があります。）
- ファンケースの電源プラグは長期間留守になる時間以外は抜かないでください。（臭気が室内に発生する場合があります。）
- ファンケースから異音が発生したらファンを交換してください。（ファンが止まったり、もっと音が高くなる場合があります。）

# ご使用にあたって

## ご使用方法

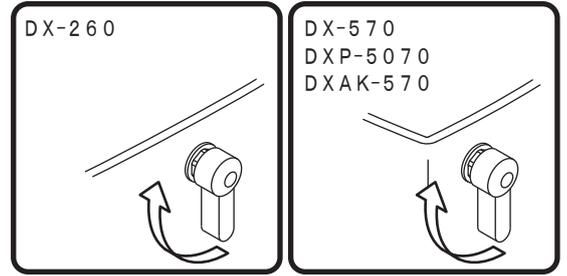
- ご使用后、レバーを矢印の方向へ回してすぐに放してください。レバーを途中で止めないでください。  
⚠ 便槽がすぐにいっぱいになります。
- ご使用の紙は水に溶けやすい物をお使いください。  
⚠ ティッシュ、新聞紙、雑誌、紙おむつ、生理用品は流さないでください。
- プラスチックを使用している部分がありますので、タバコを投げ捨てないでください。
- 少量の水しか使いませんので、ご使用済みの紙はできるだけ丸めて、便器排便口に落としてください。

### DXAK-570をご使用の方へ

- ファンケースの電源プラグは、長期間使用しないとき以外は抜かないでください。
- エアーホースの両接続はきちんと差し込んでください。特にトイレの掃除の後にご確認ください。

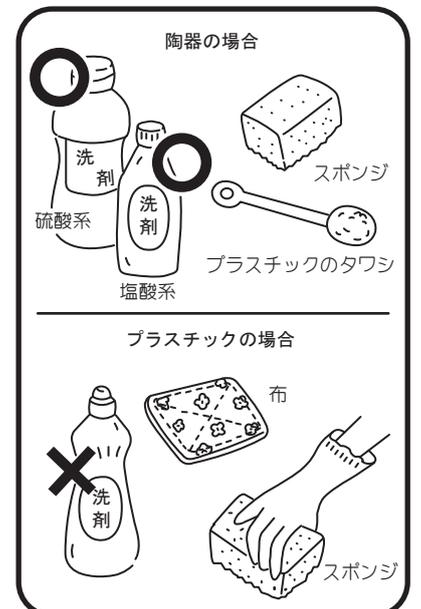
### ⚠ ご注意

- この製品は簡易水洗便器で、汲み取り式です。水洗トイレではありませんので、公共下水道や浄化槽には接続できません。  
寒冷地などの特定地域を除いて、通常の場合一ヶ月に一回汲み取りを行ってください。



## お手入れ方法

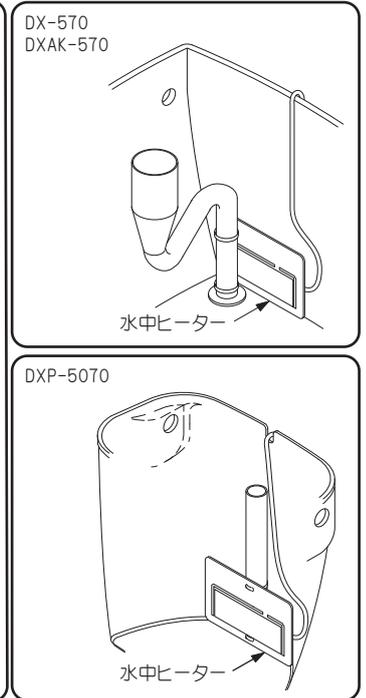
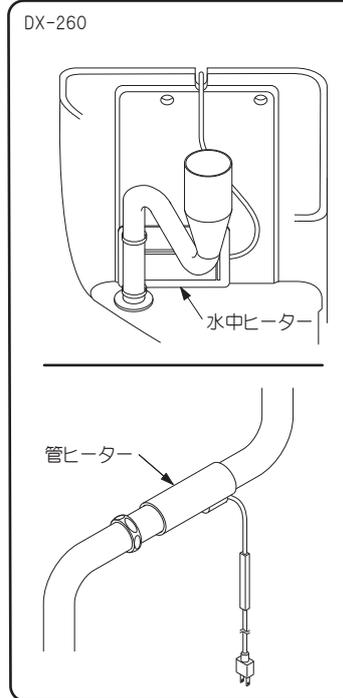
- 便器を洗剤で洗った後は、水で良く洗い流してください。
- 便器を洗う洗剤や薬品を便座にかけないでください。
- 便座、便ぶたを掃除する時は、やわらかい布やスポンジで水拭きし、洗剤は使用しないでください。
- 便皿部分は、定期的に掃除してください。尿石などで汚れがひどい時は、薬品（サンポール等）で洗い、その後水でよく薬品を洗い流してください。
- 暖房便座を便器から取りはずして、掃除をしてください。
- 掃除される場合は、手袋などで手を保護してください。



# ご使用にあたって【防寒対策】

## 凍結防止ヒーター付をご使用の方へ

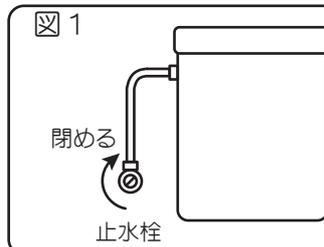
- 防寒ヒーター（水中ヒーター・管ヒーター）をご使用の場合は、寒冷の時期には電源を入れたままにしておき、暖かくなったら電源を抜いてください。
- このヒーターは $-5^{\circ}\text{C}$ まで耐えられます。 $-5^{\circ}\text{C}$ 以下になるような場合は、下記の水抜きによる凍結対策を行ってください。
- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。凍結時期の場合は、下記の水抜きによる凍結対策を行ってください。



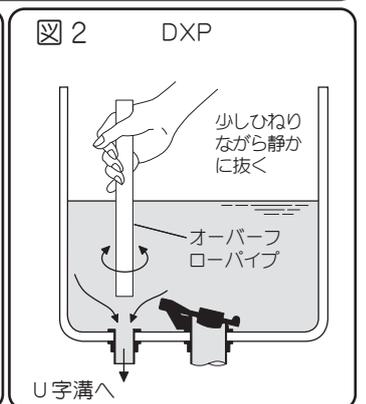
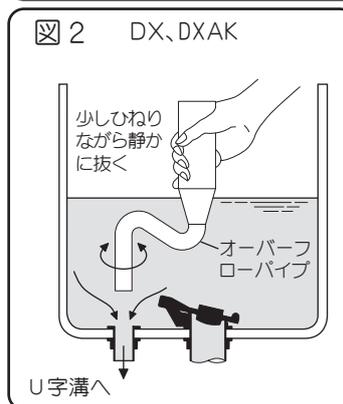
## 凍結防止対策 ……………（凍結すると器具が破損しますので、必ず器具内の水を抜いてください。）

- 防寒ヒーターがなくて凍結のおそれのある場合、長期間使用しない場合は、次の方法で水タンクの水抜きをしてください。

- ① 止水栓を止めます。（図1）
- ② タンク内のオーバーフローパイプを少しひねりながら引き抜きます。（図2）
- ③ これにより、水はオーバーフロー受を通り、U字溝の方へ流れていきます。なお、水タンクが空になってから、2～3回レバーをひねってください。
- ④ 水抜きが終わったら、オーバーフローパイプを受けに垂直に注意して差し込んでください。

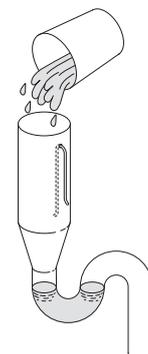


※ 止水栓を閉めるとき何回転で止まったか覚えておいてください。開くとき、閉めたときの回転数分回してください。



## オーバーフローパイプについて

- 臭気もれる場合は、必ずオーバーフローパイプに水を入れてください。
- ※ オーバーフローパイプに付いている糸は外さないでください。DXPには糸がありません。



# こんなときは

状 態	原 因	処 理 方 法
1. レバーを回しても水が出ない。	①タンク内に水が無い。 ②止水バルブのクサリが外れている。	➡ 止水栓を開ける。 ➡ クサリを正しく取り付ける。
2. 洗淨水が止まらない。	①バルブ受けにゴミが詰まっている。 ②バルブ受け及び止水バルブに傷がついている。 ③クサリがからみ止水バルブが浮いている。	➡ 止水栓を閉め、ゴミを取り除く。 ➡ バルブ受け及び止水バルブを交換する。 ➡ クサリを正しく取り付ける。
3. 洗淨水が便器外に飛び出す。	①ノズルにゴミが詰まっている。 ②ノズルの向きが正しくない。	➡ ノズルを外し、洗淨する。 ➡ 水平に取り付ける。
4. 便皿に水がたまらない。	①便皿周辺部に紙や汚物が付着して、水がたまらない。 ②便皿表面に尿石が付着している。	➡ 便皿周辺部を棒タワシなどで掃除する。 ➡ 尿石落としを使って掃除する。
5. 便皿が開かない。	①便槽が満杯でガス圧が強く、便皿を押し上げている。 ②排便管が詰まり、汚物が便皿の開きを妨げている。	➡ 汲み取りを行う。 ➡ 水を流しながら、詰まっている汚物を棒などで押し流す。
6. 床に水がもれる。	①水タンクの破損。 ②便器本体から水がにじむ。 ③便器本体の破損又は、ロト取り付け不良による。	➡ タンクを交換する。 ➡ ナットの増し締めか、部品を交換する。 ➡ 便器本体を交換する。 ※工事店又は、メーカーにご相談ください。 (6の②③)
7. 臭気もれる。	①オーバーフローパイプ内に水がない。 ②便皿に水がたまらない。 ③シーリングパッキンがずれている。 ④排気ファンが止まっている。 (D X A K - 5 7 0のみ)	➡ 水を補給する。P. 6 ➡ 上記4.を参照。 ➡ 床フランジを外し、シーリングパッキンを取付直す。 ➡ ファンケースを交換する。 電源が入っていない。
8. ウジ及びハエが出る。		➡ 便槽にウジ殺しなどの薬品を投入する。